

募集要綱の研究発表のテーマの番号とテーマ名を上欄に記入して下さい。

演 題 : 個別レクリエーションの強化による QOL 向上の試み	
副 題 : ひとりひとりの満足感の向上を目指して	
種別・施設名 <small>ふりがな</small> 特別養護老人ホーム・みはるの丘 <small>おかうきしま</small> 浮島	
職 名 ・ <small>ふりがな</small> 発表者名	介護士・高嶋 <small>たかしま</small> 圭一郎 <small>けいいちろう</small>
	.
TEL ( 055 ) 969-3355 FAX ( 055 ) 969-3385	
E-mail : miharunooka@themis.ocn.ne.jp	
施設概要 沼津市西部、浮島地区に位置し、お茶畑に囲まれ、駿河湾が一望できる見晴らしが良い施設です。在宅サービスのデイサービス、ショートステイ、ヘルパー、居宅介護支援事業所と軽費老人ホームケアハウスはるかぜを併設し、地域の福祉施設の拠点の役割を果たしております。	
<p>〈取り組んだ課題〉</p> <p>現在感染症対策により施設全体のレクリエーション行事等は実施が困難になっている。それに代わる楽しみの提供を通じて利用者様の生活の質の向上を目指す。</p> <p>〈具体的な取組〉</p> <p>①2 階西棟入所者に対して、実施したいレクリエーションの内容を決定し実施表を作成し実施する。個別レク実施表（別表 1）</p> <p>②レクリエーション実施による効果を歩行機能、嚥下機能、精神安定について評価する。（各 3 名）歩行機能は月に一度歩行能力を測定する。嚥下機能、精神安定については記録システム上の記録から効果を評価した。利用者のレクに対する反応、職員の感想、レク実施に際しての課題等についてアンケートを実施した。個別レク実施マニュアルの作成。</p> <p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての利用者を対象に、個別レクリエーションの内容を担当者を中心に決定し、個別レク実施表にまとめた。実施表をもとに、業務に比較的余裕がある時間にレクを実施した。</li> <li>・6 月の試験期間は、棟の全ての入所者にレク</li> </ul>	<p>を実施できたが、7 月以降は業務が逼迫しレクの実施回数が減ってしまった。（別表 2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レク回数の減少もあり、レクによる歩行機能、嚥下機能、精神安定に対する効果を数値で評価するには至らなかった。（別表 3～5）しかし職員に実施したアンケートでは個別レクに参加された入所者が非常に楽しんでいる様子が感じられ、職員も喜びを感じているのが分かった。限られた時間で効率的にレクを実施する為に具体的な個別レクマニュアルを作成し、若手職員のレク実施能力の向上を目指し、マニュアルによりレク準備の円滑化を図った。 <p>＜今後の課題＞</p> <p>レクを効率的に実施するためには、職員個々のレク実施能力の一層の向上が求められる。また、レクを実施する日時を決め、レク道具や材料の計画的な準備が必要。入所者ごとにレクに対する好みや思いは様々であり、それをどうやってみ取っていくかも重要である。入所者の好まれるレクが、感染防止等の事情により実施困難な場合もあり、他部署との連携、確認をしながら臨機応変な工夫も必要になる。</p> </li></ul>

